

臨床情報及び検体等の研究利用に関する情報公開文章

研究課題名 『地域包括ケア病棟における多職種連携による退院支援早期介入への取り組み 』

研究機関名 JCHO さいたま北部医療センター

【研究の目的・意義】

本研究により多職種連携が密に行われ、介入することで、地域包括ケア病棟の患者に対する退院調整および方向性決定までの期間の短縮を図ることができるのか検証することを目的とします。

これらの実践に伴い、時間的に余裕をもって退院調整が行え、これまで以上に患者・家族の意向に沿ったスムーズな退院支援の体系づくりが期待できると考えます。

【医学的貢献】

地域包括ケア病棟において、入院期限が超過する例は多くありませんが、期限終了間際での退院となる例は少なからず発生しています。多職種で連携して調査を進め、期待する効果が出れば、地域包括ケア病棟の入院期限に余裕をもって退院の案内ができるものと考えています。

【調査及び、検査項目】

患者様に特に行っていただくことはございません。診療録（カルテ）から収集した情報を元にして、収集したデータから調査を行います。

調査項目

- ・ 入院日
- ・ 退院調整介入日
- ・ 方向性の決定日

上記、研究開始前の状況と比較します。方向性決定時の対象の反応（意向に沿うことができたかなど）も併せてカルテの情報から確認を行います。

また、入院から介入までの期間の違いにより、方向性に影響があるのかどうかも調査していきます。

【対象及び対象となると予想される症例数】

・対象

地域包括ケア病棟に入院予定および入院中の患者・家族。研究開始前に関しては、調査時期に入院していた患者・家族。

・予定症例数

研究前、後それぞれで 50～100 名ほどを予定しています。

【実施期間】

令和 7 年 9 月～令和 8 年 1 月

【個人情報について】

この研究はさいたま JCH0 北部医療センター倫理委員会の承認を得て実施するものです。

研究に利用する患者様の個人情報はすべて削除し、厳重に管理致します。

今回の研究での結果及び成果を医学学会等にて報告する可能性がございます。

本研究に対しご意見、ご質問のある方、診療情報や採取検体等の提供を承諾されない方はお手数ですが、下記までご連絡お願い致します。

【研究に関する問い合わせ先】

JCH0 さいたま北部医療センター 048-663-1671 地域医療連携室 廣門 仁美